

# 日本学生支援機構奨学金

## 「第二種奨学金の貸与期間延長」について

このことについて、法学部・法学研究科(法科大学院含む)・公共政策学教育部の**最高学年(最終年次)**を対象として、「**第二種奨学金の貸与期間延長**」の募集を行います。

現在、最高学年で第二種奨学金を受けており貸与終了(予定)が令和2年度中の者で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、在学学校長から卒業予定期を超えての在学期間延長及び奨学金貸与の必要性を認められた者に対して、貸与期間を最大1年延長できるものです。

【対象学年】 **最高学年(最終年次)**

【対象者の要件】

- ①令和2年度に最高学年で第二種奨学金の貸与を受けている者  
※令和2年度の途中で貸与終了する者を含みます。
- ②新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、就職の内定取消を受けたこと又は就職先が決まらないこと等で、やむを得ず標準修業年限を超えて在学することになった者
- ③卒業予定期を超えての在学期間延長・奨学金貸与の必要性を在学学校長が認める者

この貸与期間延長申請を希望する者は、まず、12月21日までに法学研究科学事担当宛にメール([gakuji@juris.hokudai.ac.jp](mailto:gakuji@juris.hokudai.ac.jp))にて申請申込みを行ってください  
なお、申込時の提出書類、提出期限、提出方法は下記のとおりです。

### 記

#### 1.提出書類

- ①**第二種奨学金貸与期間延長願(全員提出)**
- ②**新型コロナウイルス感染症拡大の影響により内定取消となった者(該当者のみ)**  
→企業からの内定取消通知の写し
- ③**新型コロナウイルス感染症拡大の影響により就職先が決まらない者(該当者のみ)**  
→本人からの申請書(指導教員等の署名入り)

## 2. 申請要領及び提出期限：

### (1) 申請申込み 12月21日(月) 〆切り<期限厳守>

期日までに、法学研究科学事担当宛にメール (gakuji@juris.hokudai.ac.jp) にて申請すること。メールタイトル[第二種奨学金の貸与期間延長申請申込み・学生番号・氏名]とし、メール本文に、①学生番号・氏名 ②メールアドレス ③指導教員名(学部生は、演習の先生や学生委員)を記載すること。

### (2) 提出期限： 12月25日(金) 正午〆切り<期限厳守>

(3) 提出方法： 窓口又は郵送にて提出すること。

### ※提出等に係る留意点

- ①第二種奨学金貸与期間延長願の延長事由は、「被災(災害に起因する特殊事情を含む)による場合」を選択してください。
- ②願出の「延長が必要となった理由」の記述欄には、「新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い卒業延期となり、奨学金が必要である」旨を記載ください。
- ③奨学金の保証制度を人的保証としている者は、願出に連帯保証人及び保証人の自署と実印の押印・印鑑登録証明書が必要となりますので、事前に準備しておくようにしてください。
- ④就職先が決まっていない者は、貸与期間延長申請書を提出する必要があるため、指導教員(学部生は、演習の先生や学生委員)にあらかじめ内諾を取ること。期日までに指導教員の署名を得ることが難しい場合は、メールにて内諾を取り、申請書と併せて内諾を得たメールを提出すること。

### 郵送先・問い合わせ

〒060-0809 北海道札幌市北区北9条西7丁目

北海道大学 法学研究科 学事担当

TEL 011-706-3964

令和2年12月16日

法学研究科・法学部・学事担当

### 第二種奨学金貸与期間延長願

※大学学部・短期大学・専修学校専門課程（単位制）・高等専門学校（専攻科）の長期履修学生に係る第二種奨学金貸与期間延長を含みます。

独立行政法人  
日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり貸与期間の延長を希望いたしますので、引続き奨学金貸与の継続をお願いします。  
また、卒業期が延びる場合には、返還総額が増すことを理解したうえで、独立行政法人日本学生支援機構学資金の貸与期間（終期）を下記のとおり延長することを願います。

なお、返還誓約書（兼個人情報取扱いに関する同意書）で確認し、誓約した内容に加えて、貸与期間（終期）の延長に係る一切の債務に関しても、確認書並びに返還誓約書（兼個人情報取扱いに関する同意書）及び日本学生支援機構諸規定に定める取扱いに従うことを誓約します。

提出日		西暦20 年 月 日	
生年月日		西暦 年 月 日 (満 歳)	
大学(院)	学部	学科(科)	年次
短期大学	課程	研究科	
学校			学籍番号

奨学生番号	フリガナ	印
8 0	氏名(自署)	

・太枠線内及び必要事項は正確にもれなく記入し、押印のうえ、学校に提出してください。

変更後の借入金額(予定・総額)	円	返還誓約書に印字された借入金額(予定)に、貸与期間(終期)を延長することで貸与される金額を加えて記入してください(入学時特別増額貸与奨学金分も含む)。 借入金額を訂正する場合は、『変更後の借入金額(予定)』欄の訂正方法についてを参照してください。
現行の貸与期間	貸与始期 20 年 月 日 ~ 貸与終期 20 年 月 日(予定)まで	
希望する貸与延長期間	●卒業(修了)見込: 20 年 月卒業(修了)見込 (注)卒業(修了)見込は、卒業に必要な最短期間 ●希望する延長期間: 現行の貸与終期(予定)の翌月から 20 年 月まで ●長期履修課程の修業年限: 年 (延長事由が「長期履修」の場合のみ記入)	
延長事由	<input type="checkbox"/> 留学による場合 <input type="checkbox"/> 傷病による場合 <input type="checkbox"/> ボランティア活動による場合 <input type="checkbox"/> 被災(災害に起因する特殊事情を含む)による場合 <input type="checkbox"/> 長期履修課程による場合	
(注)該当を☑で選択		
◎上記事由が生じた期間	年 月 ~ 年 月 (注)「長期履修」の場合は記入不要です。	
◎上記事由により延長が必要となった理由を詳細に記述してください。(注)「長期履修」の場合は記入不要です。		
休学期間	<input type="checkbox"/> 有 年 月 日 ~ 年 月 日 <input type="checkbox"/> 無 (注)「長期履修」の場合はいずれも記入不要。	
(注)該当を☑で選択		
(準)国費受給期間	<input type="checkbox"/> 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 官民協働海外留学支援制度 年 月 ~ 年 月 <input type="checkbox"/> 無	
(注)該当を☑で選択		

■保証制度(必ず記入してください。) ※人的保証の場合は、連帯保証人・保証人それぞれの自署と実印での押印、及び添付書類として印鑑登録証明書が必要です。  
※機関保証加入者は、貸与期間の延長に伴い保証料月額が変更となります。  
※機構届出の連帯保証人又は保証人が債務整理(破産等)中の場合は、本願提出前に「連帯保証人・保証人等変更届」を提出してください。

※現在選択している保証制度にチェックする。	<input type="checkbox"/> 人的保証(右欄を記入)	私は、上記の貸与期間(終期)の延長により貸与総額が増加することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで本人と連帯して保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。
	※印鑑登録証明書を添付	機構届出の連帯保証人: 住所 〒 氏名 (自署) 実印 電話番号(昭和・平成) 生年月日 年 月 日
<input type="checkbox"/> 機関保証	私は、上記の貸与期間(終期)の延長により貸与総額が増加することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。	機構届出の保証人: 住所 〒 氏名 (自署) 実印 電話番号(昭和・平成) 生年月日 年 月 日
		今後貸与を受ける奨学金の保証を、引き続き公益財団法人日本国際教育支援協会に委託しますので、保証料は貸与金額から独立行政法人日本学生支援機構が差し引いて同協会に支払うこととしてください。

#### ■本人が未成年者の場合のみ記入

上記の者が現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

親権者又は未成年後見人	住所 〒 (親権者・未成年後見人) 氏名 (自署) 印 電話番号
	住所 〒 (親権者) 氏名 (自署) 印 電話番号

本人が未成年者の場合には、親権者がそれぞれの欄に自署・押印してください。親権者が連帯保証人の場合も、本人が未成年者であれば必ず自署・押印してください。親権者とは、民法に定める親権者として、通常は両親です。両親がいる場合は、必ず二名とも記入してください。いずれかいない場合は一人が記入し、余白に一人の旨を記入してください。未成年後見人がいる場合は、未成年後見人が自署・押印してください。奨学金申込時の「親権者又は未成年後見人」から変更されている場合は、余白にその旨を記入してください。

上記記載のとおり相違ないことを証明します。(学校の証明) 20 年 月 日

学校名 関係課長(※) 職印

※証明者は課長相当職以上の方としてください。なお、職印の押印・省略については、各学校の公印取扱規程等の定めに基づき取扱ってください。

●学校記入欄(必須)

返還誓約書機構  提出 ( )  済

※返還誓約書提出の上「済」にチェックをして提出してください。

電話番号(担当者名)	学校番号	区分
-	-	-

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。(20.4)

## 日本学生支援機構第二種奨学金の貸与期間延長申請書

申請者氏名	フリガナ		学籍番号
学部・学院（研究科）・ 学科（専攻）・学年	学部（学院・研究科）	学科・専攻等	学年

私は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、就職先がきまらないため、やむを得ず標準修業年限を超えて在学することとなったため、第二種奨学金貸与期間を延長申請いたします。

**【学科長・指導教員等所見】**

上記理由に相違ありません。

学科長・指導教員等署名

---